

# 知っていますか？

小阪憲司●著

レビー小体型認知症家族を支える会●編集

D E M E N T I A w i t h L E W Y B O D I E S

# レビーしょう小たい体がた型

# 認にん知ち症しょう

よくわかる、  
病気のこと  
&  
介護のこと

## まえがき

認知症——。できるなら誰もがなりたくない病気ですが、年をとるにつれ、多くの人がそうになっていく現実があります。平均寿命が年々のびる現代社会にあって、認知症の人はますます増加傾向にあることは周知のとおりです。それに伴い、社会や国民、マスコミなども、認知症に少なからず関心を寄せるようになってきています。

ただ、すべての人たちが認知症に関して正しい知識を有するまでには至っていません。「認知症とアルツハイマー病は同じ?」「認知症は遺伝?」「認知症になると何もわからなくなるから、不安や心配ごとはなくなる?」……。こうした多くの誤解・理解不足にあふれているのが現実です。

「レビー小体型認知症」という種類の認知症も、まだまだ知られていません。一度もこの病気を耳にしたことがないという人も数多くいると思われそうですが、最近、国内外を問わず、もっとも注目されている認知症です。

本書では、このレビー小体型認知症について、病気のこと、医療のこと、介護のことについて、図やイラストを交えてわかりやすく解説しています。当事者の方や、介護職、ケアマネジャー、看護師、医師の方たちなどに向け、誰もが理解できるように書いてあります。

この本が、読んでくださった皆さんに役立つのはもちろんのこと、レビー小体型認知症の理解が社会に広まる大きなきっかけになれば、筆者として望外の喜びです。

**小阪憲司**

知っていますか？ レビー小体型認知症  
よくわかる、病気のこと&介護のこと  
目次

# 1

## 認知症とは

認知症は脳の病気●8

思い出せない、わからない……●10

認知症の原因は70種類●11

# 2

## レビー小体型認知症とは

レビー小体型認知症は三大認知症の1つ●14

レビー小体型認知症の人は50万人●16

脳にレビー小体が広がると……●18

見えないものが見える!?!●20

頭がはっきりしたり、ボーッとしたり……●23

パーキンソン病の症状があらわれる●24

その他の特徴的な症状●26

まずはチェックリストで●28

レビー小体型認知症とわかるまでの事例●30

## 3

### 知りたい! 教えて!

Q どんな病院・医師を選べばいいですか? ●34

Q 治療薬はありますか? ●36

Q 幻視があらわれたときの対応は? ●40

Q 夜中に突然大声を出します…… ●43

Q よく転びそうになります…… ●45

Q これからどんな生活をしていけばいいですか? ●47

## 4

### 困ったときは……

レビー小体型認知症の専門医師一覧 ●50

支援組織と関連団体 ●54

レビー小体型認知症家族を支える会 ●54

レビー小体型認知症研究会 ●56

認知症のひと家族の会 ●57

全国パーキンソン病友の会 ●57

関連サイト ●58

さくいん ●61

装幀●日下充典  
イラストレーション●小峯聡子  
本文デザイン●KUSAKAHOUSE

1

---

認知症とは

## 認知症は脳の病気

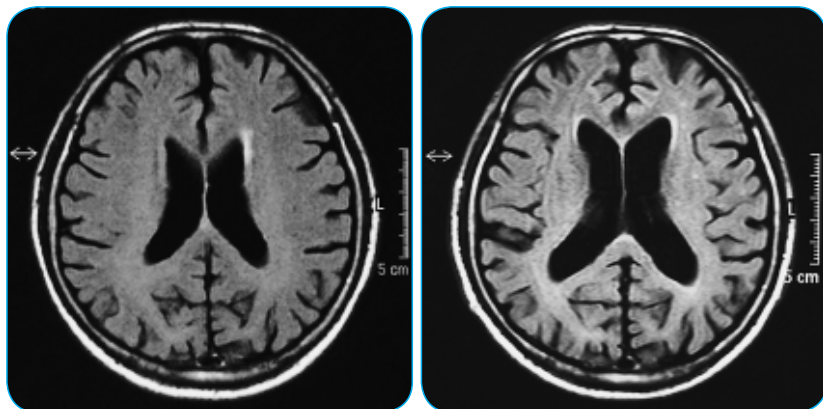
人は、40～50歳代くらいから、もの覚えが悪くなったり、一度会った人の名前をなかなか思い出せなくなったりします。ただし、こうした多少のもの忘れは、脳の生理的な老化による、誰にでも起こってくる現象です。

それに対して、認知症は、脳の神経細胞が壊れることによる“病気”です。認知症になると、記憶障害が起こってくるほか、判断力や理解力が低下する、時間や場所や人がわからなくなる、言葉のやりとりが難しくなる、計算ができなくなるなどが起こり、だんだんと日常生活に支障をきたすようになります。

### アルツハイマー型認知症の脳

左●55歳のとき、軽度のアルツハイマー型認知症と診断される

右●5年後[60歳]。脳の萎縮が顕著に進んでいる



## 生理的なもの忘れと認知症のちがい

	生理的なもの忘れ	認知症
原因	脳の生理的な老化	脳〔神経細胞〕の病気
もの忘れ	体験したことの一部を忘れる 〔ヒントがあれば思い出す〕	体験したこと全部を忘れる 〔ヒントがあっても思い出せない〕
症状の進行	あまり進行しない	だんだん進行する
判断力	低下しない	低下する
自覚	忘れっぽいことを自覚している	忘れたことの自覚がない
日常生活	支障はない	支障をきたす



1  
認知症とは